

第58回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 令和元年8月1日(木) 18時00分から 20時15分

・場所 宇部市ときわ湖水ホール ミーティングルーム

・出席委員

| | | |
|------|-----------|-----------|
| (会長) | 関 根 雅 彦 | |
| | 中 野 陽 一 | 田 辺 亜 由 美 |
| | 新 谷 弘 昌 | 茂 山 守 |
| | 安 井 美 智 | 阿 部 正 和 |
| | 高 松 克 志 | 隅 田 典 代 |
| | 山 根 好 子 | 安 井 敬 子 |
| | 角 野 い づ み | 菅 野 弥 生 |
| | 櫻 井 菜 穂 子 | 藤 本 米 子 |

・欠席委員

| | |
|---------|---------|
| 有 部 正 治 | 富 岡 英 雄 |
| 吉 本 信 子 | 河 村 竜 太 |

・事務局

| | |
|-----------------|-----------|
| 市民環境部長 | 藤 崎 昌 治 |
| 市民環境部理事 | 平 山 純 子 |
| 廃棄物対策課長 | 上 田 康 次 郎 |
| 環境保全センター施設課長 | 川 崎 一 利 |
| 環境保全センター施設副課長 | 植 田 昌 吉 |
| 廃棄物対策副課長 | 河 口 育 太 |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係長 | 河 村 真 彦 |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係主査 | 池 田 忍 |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係主任 | 西 田 涼 子 |

・資料

- 1 指定ごみ袋制度の見直しについて
- 2 指定ごみ袋制度及びごみ搬入手数料
- 3 指定ごみ袋制度及びごみ処理手数料見直しに関する審議スケジュール(案)

・次第・議事録

- 1 副市長あいさつ
- 2 諮問
- 3 議題
 - (1) 指定ごみ袋の制度及びごみ搬入手数料の見直しについて
 - ア これまでの経緯と導入目的
 - イ 他市の有料化の状況

ウ 指定ごみ袋制度の見直し及び搬入手数料の見直しに当たっての検討項目

エ 審議スケジュール

オ 指定ごみ袋制度の見直しの妥当性について

(2) その他

| | |
|-----|--|
| 会長 | 本日の議題は、諮問にもあった「指定ごみ袋の制度及びごみ搬入手数料の見直し」について、まずは、(1)の「指定ごみ袋制度及びごみ搬入手数料の見直しについて」の「ア これまでの経緯と導入目的」と「イ 他市の有料化状況」について事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | 資料1「指定ごみ袋制度の見直し」により説明 |
| 会長 | 今、説明いただいた資料に関しての質問はないか。 では私から、4ページの現在の県内市町の状況というところだが、結局1人1日当たりのごみの排出量で見ると、ごみ袋が高いからといって減るわけではない。現状の排出量を見るのはあまり意味がないという事がわかるが、この制度を各市が導入したときにどれくらい減ったかという情報は集めることはできるか。 |
| 事務局 | 配布資料にある環境省がまとめた「一般廃棄物処理有料化の手引き」の22ページの資料から、また他の文献などをみても、有料指定袋の効果として10%~20%の減量効果を上げているところが多いと推測できる。値段の設定によってばらつきはあるが、だいたい平均的にはそれ位の効果があると言われているので、私どももその程度を見込んで指定袋の有料化を検討している。 |
| 会長 | データはあるということで、わかった。 |
| 委員 | 資料1の指定ごみ袋の見直しの1ページに家庭系焼却処理量の推移があるが、初めは良かったけど一時期からずっと横ばいというのが出ている。恐らくこれはプラスチックがある程度汚れているものは、プラスチック製容器包装ではなく燃やせるごみとして出してもいいということが周知されたからだと思う。焼却場の使い方とかいろんな面で、汚れたプラスチックを洗ってから出す方のデメリットが多いという事で、出し方がすごくゆるくなったことが原因じゃないか。 |
| 委員 | 今の話ですが、私はあまり関係ないと思っている。それよりも古紙、紙製容器包装等がちゃんと分別できてないというのが関係していると思う。 |
| 事務局 | 資料1の1ページ下のグラフだが、汚れたプラスチックを可燃ごみで排出するようと市民周知したのが平成21年か22年で、若干排出量は上がってはいるが、平成14年から平成30年をみても横ばい状況であることを見ると、その辺はあまり影響ないという見方はしている。 |

| | |
|-----|---|
| 会長 | 他はいかがか。 |
| 委員 | 確かに有料化にすると一時的にごみは減るが、2～3年するとまた元に戻るとい ところが多い気がする。有料化が減量化に必ずしも繋がらない気がするのだが。私が見 たデータによると一時的には減るけども何年かすると戻ったという気がするが、そ れはどうなのか。 |
| 事務局 | リバウンドについては、文献等を見てもデータはあるし、事実そういう自治体もあ る。しかし、それを防ぐために、例えば他に資源物の分別を一緒に施策としてやって いくなどして、減量を維持している自治体が多いと認識している。 例えば、宇部市も可燃ごみの指定袋を有料化するが、資源ごみについては据え置き することで、さらに資源化を図り、リサイクル率や資源化率を上げながら可燃ごみの 排出を抑制できると考えている。 |
| 委員 | 要するに、ごみ袋が高くなるから、可燃ごみを減らしてなるべく袋を使わないよう にするためには、ちゃんと分別してもらおうという考え方なのか。 |
| 事務局 | 元々、現行の指定袋の導入がそういう資源化を上げていきたいという事があったの で、さらに有料化することでその促進を図るとい事と、ごみ自体を減らしていき たいという部分で考えている。 |
| 委員 | 紙ごみについてしっかり取り組まないといけないのだけど、実際に可燃ごみの中 に紙とか箱とかが入っていると思うので、確かに分別して可燃ごみに入れないとちょ とでも排出量が減るかなと。紙に関してはそういう風にまわすというのはあると思 う。 それを市民に徹底させる方法、周知させる方法が問われてくるような気がする。市 がごみを100g減らしましょうと旗振りをするが、実際に市の職員がどんな対応を しているのか。市の職員が本気になってやるという事は、旗振りをしようと思たら市 の職員が本気になって動いてくれないと市民がついて行かないと思うが、それはどう 考えるか。 |
| 会長 | 答申を作るための審議内容に入ってきているので、とりあえず今はこの資料の中の 質問に決着をつけて、次に審議のスケジュールを聞いてからにしたい。 続いて、「指定ごみ袋制度及びごみ搬入手数料の見直しに当たっての検討項目」に ついてお願いします。 |
| 事務局 | 資料2の「指定ごみ袋制度及びごみ搬入手数料の見直しに当たっての検討項目」に より説明。 |
| 会長 | これから後の予定には審議スケジュールについての検討があるが、すなわち審議会 の検討項目がこれでよいのかということ。ここに上がっている検討項目は、諮問の趣 |

| | |
|-----|---|
| | <p>旨に基づいて答申を出すために必要と思われる内容を事務局がまとめられたものと思えばいいのか。今ここでの質問というのは、ただ単純に質問項目の意味が分からないというものと、検討項目が足りないのではないかという意見を言うていただくことが大切だと思う。</p> <p>多分、先程委員が質問されたことは検討項目の「1 制度見直し理由の妥当性」とか「7 制度見直しに伴って生じる対策」とかにかかわることで、今後審議していく内容になっていく。</p> <p>検討項目に対してあまり意見がないなら、引き続きスケジュールについての説明を聞くこととする。</p> |
| 委員 | <p>このスケジュールを見て思ったのは、これを5回ほどやって答申が出ればいいが、それが出ないときはどうするのかと。</p> |
| 会長 | <p>それも含めて次の審議スケジュールを聞いてからの話になるので、ここで審議スケジュールの説明をお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>資料「指定ごみ袋制度及びごみ搬入手数料の見直しに関する審議スケジュール(案)」により説明。</p> |
| 会長 | <p>審議の結果、答申をまとめていくということは、まとめていただいた答申がそれでよろしいかという回はないのか。</p> |
| 事務局 | <p>最後にどういう答申を出したかという話は必ず必要になってくる。それは順番に議論していく中で、最初は家庭系のごみはどうするのか、有料化するのかもしれないのか、その次に事業系ごみをどうするのか、搬入手数料をどうするのかになっていくので、議論が一つずつ終わればそこに対して我々で少しまとめていく。だから議論が終わった段階ではある程度答申書の案ができています。したがって最終回である11月下旬には答申書案を確認いただく予定で考えています。</p> |
| 会長 | <p>スケジュールも併せて説明があったので、検討項目の過不足、そしてスケジュールについてご意見、ご質問があればお願いします。</p> |
| 委員 | <p>私どもの会は小学校4年生の子供たちに具体的にごみの出し方の変更とかいろんなことを、例えばごみの処理経費として4人家族で46,000円かかっていること、年間19億円かかっていること、こういうことをリサイクルプラザに見学に来た子ども達だけに話している。できればこういう話を広報でも回覧板でもいいので、少しずつ市民に現状を伝えていくPRをしていくと、突然ごみ袋に手数料がかかるようになるよりは、何か月間かの間に市民がこれはいけないのだと大変なことだと理解してくださると思う。</p> <p>数年前にプラごみを汚いまま出すと処理に2億円かかるという2億円騒動があった。だからちゃんと出しましょうと。一般市民はびっくりして、これは大変ねとやっ</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>ぱりこうしないといけないねとなっていた。できればこのようなことをじわりじわりと市民のみなさんにPRしていただきたいと行政に願います。</p> |
| 会長 | <p>今のは「7 制度見直しに伴って生じる対策」に対する意見だから、審議の時にリストとして残して欲しい。</p> <p>他にスケジュールと審議内容、特に検討項目に対して意見があるか。</p> <p>まずこれを見ると、「制度見直しの妥当性」というのはけっこう重い議論である。有料化をやると決めたらそれ以降は見直しの内容に関する事だから、紛糾したとしても先が見えた話になると思う。このスケジュールと検討内容でいいという事であれば、早く1番の審議に入って問題出しくらいは済ませないと、このスケジュールでは終わらないのではないかと考えているので、まずは検討項目について結論付けたら次に進めるのではないかと。</p> |
| 委員 | <p>そのときそのとき議論を詰めていかないと出てこない意見というのがあるので、今日スケジュールを全部決めると、結論を出すことだけが目的になってしまうので、毎回足りない部分を出していく姿勢が柔軟でいい。</p> |
| 会長 | <p>スケジュールとか検討内容については「制度見直しの妥当性」の議論をするうちに変わるかもしれないので、ここで慌てて結論を出すことはないという意見だが、現状特に何か足りないとかあったらお気づきであれば願います。</p> <p>なければ、まずは指定ごみ袋制度見直し理由の妥当性について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>審議内容「1 指定ごみ袋制度見直し理由の妥当性」について説明。</p> |
| 会長 | <p>まずは自由にご意見をいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>私はさっきから言うように、市がどのような形でどれ位市民に周知しているのか、先程市からのPRが足りないという話もあったが、やっぱり地元は市を呼んで3R講座とか努力をしていると思うので、必ずしも市のPRが足りないとは一概には言えない。その中で逆に市に対して、今まであれだけ一生懸命に頑張っているのになぜ減らないと思われるかを聞きたい。</p> |
| 会長 | <p>あるいはもしかして、逆に我々の方にどうして減らないかを聞いても良いかもしれない。</p> |
| 委員 | <p>資料を読んで、宇部市がまず第一歩として燃やせるごみの袋から有料化しようということは大変いいと思う。</p> <p>私の家はステーションに近いので見ていると、一番重さが減らない原因だと思われるのは草木だ。いくら広報などで口を閉めないで2~3日そのままにしておくと重量</p> |

| | |
|----|---|
| | が半減すると言われても実施していない。そういうところが有料化によって何とかして軽くしようという思いが出てくるのではないか。 |
| 会長 | 有料化がごみの減量に有効であるというご意見である。 |
| 委員 | 私も有料化したら確実にごみが減ると思う。それに伴って、不法投棄が生じた場合、企業は廃棄物法という法律に縛られていて、結構罰則が重い。一方、個人の市民を見ると、野焼きにしても、不法投棄にしても、罰則はあるが、実際には市役所の人に注意を受けたり、野焼きをしたら消防署の人に注意されるだけなので、個人に対してもある程度の罰則を定めた方が面白いと思う。罰則を設ける事で、意識向上があらわれるのではないか。意識改革。 |
| 会長 | これはまた今後議論することになると思う。今日は思っていることをとにかく沢山出して、どういう観点があるのかを聞くことを優先したい。 |
| 委員 | 今の不法投棄のお話を聞いて思い浮かんだことが、若い人たちがコンビニにごみを捨てに行くこと。本当は生活から出たごみをコンビニには捨ててはいけませんが、袋の中に入れたらわからないからと捨てに行く人が多いのが、今後増えていくのではないか。ごみの袋が有料化になったら、コンビニなど無料で捨てられるところにたまっていくのではないかという思いがした。 |
| 会長 | これも不法投棄対策ということで、不法投棄を心配している方が多いことがわかった。 |
| 委員 | 有料化には私は賛成だが、私のご近所では樹木は袋に入れずにくくって出している。それも市が収集するため、樹木は袋を使わずにそのままくられたまま出せると思われているので、そこを厳密にするといい。 |
| 会長 | 草木に対する出し方も違うという意見が出てきた。 |
| 委員 | 有料化自体には特に反対はないが、一般的に今もすでに有料だと思っているのではないか。だから何が違うのかと感じる市民が多いかもしれない。 それから人口が減っているのにごみが減らないという点においては、やはり何かが変わっていている。ごみの質が変わっていているのか、私たちの生活様式が変わっていているのか。 |
| 会長 | でも、資料1の1ページに載せているのはごみのグラフは1人1日なんグラムだから、人口も込みだと思われるが。 |
| 委員 | いや、ごみ処理経費を見た時に、資料1の3ページに、人口は減っているのかにかか |

| | |
|-----|--|
| | <p>る経費は変わっていないということは、そこにかかっているごみの量は変わっていないということだとしたら、そのアプローチというのが、有料化自体はどうか、有料化以外のアプローチがあるのかと。</p> |
| 会長 | <p>処理のお金がかかっている特性として、多少の人口減ではトータルのランニングコストが変わらないという仕組みがあるのか。</p> |
| 事務局 | <p>処理経費に関しては固定費と変動費があり、施設をメンテナンスするための費用など固定費というのはごみの量が徐々に減っていても、ある程度一定にかかっている。固定費の割合は70%強位あり、変動費は27%位なので、ごみが減っていくとどんどん経費が減っていくわけではない。</p> |
| 会長 | <p>計画では、焼却場の建て替えの時にもっと小さいものを作り、固定費自体を減らしていきたいと。</p> |
| 事務局 | <p>現在、処理能力が一日当たり198tだが、それが小さくなれば当然維持管理も少なくて済む。</p> |
| 委員 | <p>私も有料化の導入に関しては肯定的な立場にはあるが、一番初めに言われたように、導入当初は実績が出るかもしれないが、家庭用品とか食料品でも値上がりすると消費者も一時的にはいろいろ考えるけども、それが当たり前になってくるとそれが普通になり、次の値上げや増税のときにまた意識するくらいで、考え方が常態化して伸び悩む。だからこの有料化制度だけでごみが右肩下がりで減っていくというのは考えにくいと思われる。市民の意識を啓発していくようなことをセットでやっていかないと難しいのかということと、導入後にもし変わらない場合や増えた場合には、一度走り出したら止められないということなので、一度試験期間があるのかどうなのかということも考えていかないといけない。</p> |
| 会長 | <p>大変重要なお指摘で、対策を取って効果が出なかったら見直していくというプロセスが絶対必要だと思うので、これも7でちゃんと論じておかないといけないことだ。</p> |
| 委員 | <p>有料化については、意識付けとしていいのかなと思う。先程コンビニエンスストアの不法投棄の話があったが、私どもの店舗の駐車場にも日常のごみが置いて帰られたりするので、そういったことがまた増えてくるのではないかと懸念はあるが、一人一人の意識付けには有料化はいいと個人的には思う。</p> |
| 会長 | <p>不法投棄の懸念のお指摘である。</p> |
| 委員 | <p>私はこの有料化には賛成だが、例えば一枚30円として一週間3回ごみを出したら90円になる。4回出すと360円、そういう値段が今考えたらどうもないが、少しずつ</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>負担になっていく家庭もあるので、有料化の裏の施策というか、適正な値段設定や減額免除の設定等が必要になってくるのだろうと思っている。あと何度も意識改革といわれているが、本当に広報等にいろいろなことが書いてあるとわかったが、日々忙しくしていると回覧板も簡単に見るだけで回す。先程言われた小学校4年生に配布されている物がどこから出ているかわからないが、大人もそういったレベルで、字がいっぱい書いてある物ではなくて絵を多用した若い人にもアピールできるような物を作成したら、絶対に回覧板は目を通すので、市民がよく目にとめるような意識改革のための広報がいるのかなと思った。</p> |
| 会長 | <p>実をいうと、資料1の1枚目、家庭系焼却処理量の推移のグラフだが、最近3年程少しずつ下がっている。これはいったい何で下がっているかと打合せの時に市に対して聞いたところ、毎年毎年いろいろあの手この手をやって広報しているのが市民の耳に届いていて少しずつ減っているのではないかということであった。家族にもそのようなこともあるかと聞いたら、確かに言われてみたらよく見ていると言っているので、広報がそれなりに効いている。だからそれをもっとうまくやればもっと効いていくというのはあるかと思うので、広報も併せてしっかりすることを答申にも盛り込んでいって実行してもらえれば変わっていく。</p> |
| 委員 | <p>有料化の導入は賛成で、そうすることによってなるべくごみを出すのを控えようという意識は働くと思うけど、その導入するのを市民の方に納得してもらうのが一番大変だと思っている。今までもごみは税金で処理されていたし、今まで税金でしていたことを更に有料にするのはなぜかというところ。出す量によってお金がかかるというのは確かにわかるが、では今までの税金はどうなのかわからないかと、そこが一番の問題だと考える。</p> |
| 会長 | <p>つまりここで制度の見直し理由の妥当性とか、我々が納得できる妥当性があるのかどうかとかが第一に大事で、それと最初の方にも話題が出てきたが、お得な出し方のオプションも別に準備しておくということである。ちゃんと分別すればお得になるというのがはっきりすればそのようになるわけだから、これも有料化と何をセットとしてやるべきか、オプションの部分をはっきり意識して議論したらいいのかもしれない。</p> |
| 委員 | <p>私は制度見直しを妥当だと思っている、資料1の1ページを見て平成15年度の以前で23%削減されているっていうのが15年位続いているというのが、私にはこの15年度に行った制度の改革の結果が安定して出ていると思っている、さらにここ2~3年では、市民の方の意識にも浸透してきて、少しずつさらに減っているのは、制度を市役所が動かすことで結果が出たものと思えた。みなさんも言われていたように、なぜ有料化するかという理由が伝わらないと反発を受けてしまうというのはあるが、例えば有料化がごみ処理施設のためになるという理由等を聞いたらもちろん納得できるので、その部分の説明がきちんとできれば最高だと思う。全員が全員完璧に意識を</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>高く持ってごみの分別をしっかりとするというのは、実際問題として無理かもしれない。ごみの分別に関しても不法投棄に関しても、ゼロにはならないと思うので、市民が出来ない部分、制度を作る等を市役所に動いて欲しい。</p> |
| 会長 | <p>具体的にどうするかという意見がここでは大切だと思うので、そこもお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>まず手数料の徴収には賛成だ。ただ学生のマナーが悪い、ごみの出し方のマナーが悪いという話は何度も聞いているが、これに関してはごみをちゃんと出していない学生はごみなんてどうでもいいと思っているのではないかと私は思う。そういう人たちにお金が結びついて、有料化になって、当事者の意識が出るかということそうでもないのではないか。だからその教育、教育周知というのをしっかり進めていった上で有料化にしてもらえたらということと、もう一つが回覧板の話があったが、学生は町内会費を払っていても回覧板が回ってこない地域も多い。だから学生は意外と市民から疎外されていると思う時があるので、学生のごみのマナーが悪いというならしっかり巻き込む何か作戦を立てて、その戦略でこの有料化に加えてやらないと、関心のない人たちのごみがいつまでたっても減らない。</p> |
| 会長 | <p>マナーが悪い学生はなぜ有料化は効かないのか。実際にごみ袋が1枚50円だと10枚入りで500円変わる。今までよりも500円以上かなり高くなるのに。</p> |
| 委員 | <p>ごみというのは絶対にできるものなので、そのことに対してしかたないという程度で済む人も絶対にいる。</p> |
| 会長 | <p>回覧板については、市役所の方から学生にもちゃんとやって欲しいということ自治会に通知してもらおうことだ。それを繰り返していくということでぜひお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>さっき話があったように、小学校の子どもたちにごみ問題を教えることはすごく大事だと思う。やはり小さいうちからそのような意識をつけること、環境意識を向上させることはすごく大事である。</p> <p>学生はごみの分け方や捨て方がわかるアプリがあるのは知っているだろうか。若い人は若い人で自分の関心があれば、例えばアプリがあるからこれを使うことでごみの捨て方がわかるということライン等で教えてあげるということができたらいいのではないかと。学生がごみ問題に関心がないということであれば、例えば1袋ごみ袋が500円になったら高いのではないかという意識になって、やっぱり大変だから少しでもごみを少なくしようと思ったとき、例えばアプリがあるので、それを使うことでごみの減量に繋がり、高いごみ袋を使わなくて済むよって話をしてもらおうなど、いろんなところで学生にアプローチする手も必要かもしれない。また、学生の側でも、意識を持っている人が市の人を呼んで勉強会を開くなど、自分たちもそういう努力が必</p> |

| | |
|-----|--|
| | 要だ。 |
| 会長 | アイデアがいくつもあったので、次回に向かって事務局からまとめてもらえるだろう。 |
| 委員 | 有料化の理由と妥当性という観点で、そこに挙げられている4つの観点から、3つは説明しやすい。費用負担の公平性の確保とか、設備更新の経費節減とか、これはわかるから簡単だと思うが、一番上のごみの抑制とリサイクルの推進が若干難しい。環境省のデータとかあるのはあるが、資料1の4ページにある県内の市町の状況を見ると、宇部市は収集ごみ1人1日当たりの排出量が有料化しなくてもすごく低いので、宇部市民は頑張っているじゃないかと思われる。そこでさらにお金を有料化することによって、意識の低い人がまだいるからそういう人たちにどれ位効くのかという見込みがあれば知りたい。数字が一人歩きしないようにしないといけないが、ここまで頑張っている市町村に対し、有料化したときの削減効果が20%も30%も出るのかと知りたいのがある。だからそのところ何か見込みがあれば、そういうデータがあればもっといいのだが。 |
| 会長 | この各市の1人当たりのごみ排出量は、各市町で出し方に違いがあって、完全に公平なデータではないので、そう簡単にこれだけを見て論じられないが、このデータだけ見たら、宇部市民これ以上頑張らなくてもいいのではないと言われるのももっともだと思う。だから私は導入したときにどう減ったのかが気になる。 |
| 事務局 | まず収集ごみ1人1日当たり排出量ですが、宇部市は県内の順位からいうと4番目になり、確かに数字だけ見たらそうなる。ごみの収集形態は各市、自治体で変わっていて、この数値からはいわゆる直接搬入する部分は除いていて、例えば事業系の排出ごみというのは直接搬入するごみの方に入ってくる。しかしながら、宇部市の場合、特にアパートだが、収集運搬業者が運搬する部分がかかなりあり、家庭ごみでありながら収集ごみに含まれていないため、その部分はこの数字からは見えてこない。他団体ではアパートごみというのは家庭系なので本来、市の収集ごみとしてデータにあがってくるのがほとんどなので、そういったところから考えると、実際もっと減らせる余地はあると考えている。 また有料化を実施していない周南市とかは、排出量が多いということが言える。 |
| 会長 | 他にもひとつひとつの市に行ってインタビューすると、それぞれの市の集計の仕方が随分違う。 |
| 事務局 | 資料1の3ページ「一般廃棄物処理基本計画における数値目標と達成状況」にある1人1日当たりの排出量1,008g、こちらの値は事業系も含まれた数字である。目標値は936gだった。令和3年度の目標は840gで、これを目標にした平成19年位当時、全国で10番目位のところを目指そうということで840gの目標を立てた。で |

| | |
|-----|---|
| | <p>も、今はさらにこういったところは 700 g 代になっていて、どんどん減量が進んできている。それなのに 840 g にもまだ到底追いつかないというところで、今回家庭系の指定袋の有料化だけでなく、また事業系の方も併せて見直していこうというところだ。</p> |
| 会長 | <p>先程のスケジュールと検討内容に戻ると、今回まず有料化に反対の方はいなかった。でも、付随して何かしないといけないという議論はたくさん出てきたと思う。なので、スケジュールとしては、今回のこの「指定ごみ袋制度見直し理由の妥当性について②」の中身が、実際には「制度見直しに付随して実施しないといけないこと」に対するある程度の考えを固める必要があるのではないかとと思われるが、いかがか。</p> <p>有料化には賛成という話はいっぱい出てきたが、それに付随して不法投棄をどうするのかということに対してある程度の見通し、草木の考え方、モニタリングはどうするのかということも意見として出てきたと思う。一番大きかったのは PR だと思うけれども、それも併せての有効性が発揮される制度だと思うので、そちらに関してある程度見通しを立てていただいて、最終的にどうするかということ、次回そのところも話題に入れてもらって、この妥当性のところの結論付けてもらいたい。</p> |
| 事務局 | <p>今言われた点は非常に重要なところなので、そのあたりはまとめていく。</p> <p>市から委員の皆様をお願いしたいのが、有料化賛成というご意見を多くいただいたが、周知も含めて、そもそも有料化の前にもっとやることがあるのではないか、こんなことをすればごみは減るのではないか、有料化しなくてもごみは減るのではないかということを考えていただくのが一つ、それと委員さんからいただいた、そもそも税金を投入してやっている、我々は税金を払っているのだからそれで処理すればいいじゃないかと、それを何でまた金を取るのかというところのご批判も十分考えられるので、そのあたりも整理する必要があると思う。また、有料化すればごみが減ると言っているけど、ではどの部分が本当に減るのか、そういう見通しがあるのかどうなのか、いうところも、有料化をする前にそこを整理する必要がある。</p> <p>我々もそのあたりは少し資料を用意してお示しはしようと思うが、委員の皆様方も今申しあげました 3 点、有料化前にもっとすることはしないのか、或いは税を投入しているところにさらに負担を求めることの是非、さらには本当に減るか、どのあたりでもっと減る余地があるのかということで、議論いただければ少し有料化についての是非の議論になるのではないだろうか。</p> |
| 会長 | <p>私が家族とどのようにしたらごみが減るのかなと話していて少し思ったのは、市の目的は重量を減らすことであり、それならば水分を減らす方がいい。袋の有料化はでかさを減らす対策にはなるが、水分を減らす対策ではない。つまり前々から言われている生ごみの水分を絞る方が重量を減らすには効くのにそれに対する対策にはなっていない。じゃあそれに結びつく付随した対策ってあり得るのか。</p> <p>それともう一つは、うちはもうコンポストをやっているから水分は関係ない。家族はごみをためるのが嫌だから、容器包装の紙でも破って可燃ごみとして捨てる。溜め</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>るのが嫌だけど、お得に捨てる場所が提供できるのかということと、実際減らす余地があるとしたらその紙ごみの話も話の中に出てきたが、そこも減らせる余地である。だからここではもう種がでてきているから、そこも含めてまとめてもらい、次回あたっていただきたい。それ以外にもまだここ減らせるというアイデアをお持ちなら、今言っていただくと次回話しやすくなると思うので、減らす種をお持ちの方は今意見を言っておいてもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>先程会長が言われていた、ごみを置いておきたくないということで、新町にある施設だが、あのような場所は何箇所か市内にあるのか。結構いつもごみがいっぱい置いてある。あのように若い人がすぐに捨てられる場所がいくつもあるといいと思うが。今若い人たちがごみの処理するのが大変だと思うので、そういうのは市内にはいくつもあるといい。</p> |
| 事務局 | <p>新町と黒石の合計2か所ある。また資源ごみの回収施設としては、例えばスーパーなどの店頭回収もあるし、昨年度から実証事業で地域での資源ごみの拠点回収を増やすという取組があるので、今後そちらの方に誘導していきたい。また、民間の方も併せていろいろ増えているので、ラインのアプリも活用して、周知を図っていきたい。</p> |
| 会長 | <p>次回話をちゃんと進めるためには、取りうるオプションっていうのはちゃんとリストアップして、これはどういう形でやるというのを書いたら、先に話が進むと思う。それをまた曖昧なままにしておくとその話で時間が終わってしまうので、そういうことをやってきますということを具体的に書いて、次回の話に持ってきてもらおうと話がしやすくなるのでお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>ごみの減量に関する会議で、資料をたくさん作っていただいて本当に見やすいが、資料の紙の節約というものも、もし次回あればいい。</p> |
| 会長 | <p>それでは、これで審議会を終わりたい。</p> |